

I 令和7年度 三原市立須波小学校教育研究について

1 教育研究のテーマ

児童が「主体的な学び」を実現する授業づくり
—学び合いの充実を図る授業スタイルの確立を通して—

2 主題設定の理由

(1) 本校の目指す児童像と育成したい資質・能力

本校では、児童の実態調査をもとに児童の課題を整理し、目指す児童像について検討し、設定した。

〈本校の目指す児童像〉

- 課題を発見し、解決する子ども
- 伝え合い、認め合い、協力し合う子ども
- 意欲をもって、行動する子ども
- 自分を、ふりかえり、生かす子ども

そして、本校の目指す児童像と新学習指導要領に示された資質・能力の3つの柱を照らし合わせ、本校で育成したい資質・能力を設定した。

〈本校で育成したい資質・能力〉

知識・技能 (知識及び技能)

各教科等に関する個別の知識や技能などであり、身体的技能や芸術表現のための技能等も含む。

A 課題発見・解決能力 (思考力、判断力、表現力等)

明らかにすべきこと、知りたいこと、改善すべきこと、達成したいことなど、自分や自分が属する集団にとっての課題や問題を発見し、その解決や目標達成をなすとげる力。

B コミュニケーション能力 (思考力、判断力、表現力等)

自分の考えや主張、調べたことなどを分かりやすく、正しく伝える力。
また、相手の話を聞いて、相手の伝えたいことを理解する力。

C 主体性 (学びに向かう力、人間性等)

自分の考えや判断で行動しようとする態度。

D 自己理解 (学びに向かう力、人間性等)

自分が考えていることや理解の程度、感じていることなどを自分自身で感じ取り、それに応じて思考や学び、行動などをより良い方向にコントロールする力。

(2) これまでの本校での取組と今年度の方向性

本校では、小中連携の一環として、資質・能力を統一することで、より学習効果が上がると考えた。そこで、本校で育てたい資質・能力を第四中学校とそろえて、「課題発見・解決能力」(思考力、判断力、表現力等)、「コミュニケーション能力」(思考力、判断力、表現力等)、「主体性」(学びに向かう力、人間性等)、「自己理解」(学びに向かう力、人間性等)に設定し直した。

【児童の実態】

令和6年度4月に行ったNRTの結果と12月に行った標準学力調査の結果は以下の通りである。

【令和6年度 NRTの結果より】

	国語 (校内平均偏差値)	算数 (校内平均偏差値)	理科 (校内平均偏差値)
2年	49.5	48.1	
3年	52.0	48.3	
4年	52.5	54.6	53.1
5年	56.8	55.0	51.5
6年	58.8	57.8	57.8
全体	53.3	52.7	53.7

【令和6年度 標準学力調査の結果より】

	国語		算数	
	校内平均	全国平均	校内平均	全国平均
1年	76.1	74.0	89.7	81.1
2年	80.7	75.9	75.4	69.1
3年	66.7	62.3	74.2	70.9
4年	76.6	69.9	78.0	68.0
5年	80.8	71.9	76.1	62.2
6年	83.8	69.9	88.5	67.3
全体	77.5	70.7	80.3	69.8

どの学年も学力に課題のある児童がおり、特に算数科に課題がある。

また、単元末テストの目標平均点(低学年90点、中学年85点、高学年80点)は以下のとおりである。

- ・国語科・・・低学年91.0点(達成度101%)、中学年86.5点(達成度101%)、高学年92.2点(達成度115%)
- ・算数科・・・低学年87.7点(達成度97%)、中学年82.5点(達成度97%)、高学年87.6点(達成度109%)

算数科においては、特に「思考力・判断力・表現力」の定着に課題がある。この結果から、児童が主体的に学びに向かい、思考したり判断したり表現したりする力が十分でないことが考えられる。そこで、今年度は、児童の学び合いの充実を図る授業スタイルの確立を通して、児童が主体的に学びに向かい、思考したり判断したり表現したりする「主体的な学び」の実現を目指す授業づくりについて研究を進める。

3 研究の仮説と推進方法

【研究仮説】

算数科を中心として、学び合いの充実を図る授業スタイルの確立を目指した授業づくりを行えば、児童の「主体的な学び」を導くことができ、目指す資質・能力を育むことができるだろう。

児童の「主体的な学び」の姿

- ・自分の考えを相手に伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- ・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。
- ・分かった点や分からなかった点を明確にし、次の学習につなげている。

学び合いの充実を図るために育てたい力

- ・学習を進める力
- ・表現力
- ・共に学び合い成長する力

【研究内容】

今年度は、学び合いの充実を図る授業スタイルの確立を通して、R80 を核とした授業で授業デザイン、豊かな「学び合い」の展開、適用問題やR80（振り返り）の充実を図り、研究を進めていく。

(1) 学び合いの充実を図る R80 を核とした授業の基本的な流れ

児童に書かせたい R80（振り返り）をもとに、ゴールイメージをもち、つけた位置からの明確化を図り、1 時間における授業をデザインしていく。

段階	目安時間	学習内容	★教師が必ず入るところ
導入	5分	1 問題の把握	
		2 本時のめあての確認	★学習の支えとなるようにめあてを確認する。
展開	30分	3 自力解決	
		4 学び合いによる集団解決（児童同士で質問をし合いながら、学びを深める）	★必要に応じて個別指導する。 ★学習が深まるよう支援する。 ★学び合いがうまく進むよう助言する。
		5 本時のまとめ	★めあてとの整合性を確認する。
	5分	6 適用問題	
終末	5分	7 R80	★R80（書く2分、ペアでシェアリング2分、全体シェアリング2分）

(2) 各学年における学習者に求める必要な力の具体

	【低学年】	【中学年】	【高学年】
学習を進める力	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてが分かり、自分の意見を発表することができる。 ・バランスよく意見を聞くことができる。 ・時間を守って学習を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてに沿って、自分たちで意見を出し合うことができる。 ・全員発言ができるように進める。 ・話し合うグループの人数を考えて、指示を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてに沿って、自分たちで学習を進めることができる。 ・みんなの意見を大切にしながら、よりよい考えになるように話し合うことができる。 ・意見を整理しやすいように、指名することができる。 ・学習リーダーが進めやすいような雰囲気を作る。
表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔を見て、はっきり話すことができる。 ・聞かれたことに答えることができる。 ・自分の考えを、順序に気を付けて、わかりやすく説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと目を合わせながら、はっきり話すことができる。 ・友達の意見を受け止めながら話すことができる。 ・質問を正確に理解して答えることができる。 ・理由や例をあげ、相手の反応を確認しながら話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、分類したり関係づけたりしながら話すことができる。 ・事実と感想、意見を区別して構成を考えながら話すことができる。 ・相手の立場に立って丁寧に理由を言ったり、具体例を選んだりすることができる。
共に学び合い成長する力	<ul style="list-style-type: none"> ・何のために、どの順番で話し合うのか確かめてから、話し合うことができる。 ・自分の考えをもち、たくさん発表することができる。 ・最後まで聞いて、分からないことを質問することができる。 ・「同じ」「付け加え」「違う」などをはっきりさせて、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えと自分の考えの共通点や違いを詳しく説明しながら、自分の考えを発言することができる。 ・友達同士の考えを仲間分けすることができる。 ・これまでに話し合ったことや分かったこと、これから話し合うことを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士の考えを仲間分けし、その理由を詳しく説明することができる。 ・自分とは違う意見であっても、そのもととなる理由を受け止めて、お互いに考えを広げたりまとめたりすることができる。 ・さまざまな視点からそれぞれの意見のよいところや問題点について考え、みんなの意見をまとめることができる。

(3) 学び合いの充実を図る授業スタイル

①導入の工夫

- ・児童に「やってみたい」「考えてみたい」と思わせる問題提示
- ・前時との違いやこれまでの学習とのつながりに着目させる発問
- ・児童一人一人に本時の問題解決に向けて見通しをもたせる発問

②豊かな「学び合い」の展開

「対話的な学び」に向かう「学び合い」の必要性は、以下の2点である。

- ①「主体的な学び」に向かう姿が生まれてくること。
…自分の考えが相手に伝わり、相手がそれを受け入れてくれることに喜びを感じる。
- ②物事に対する「深い学び」が生まれやすくなること。
…自分1人で取り組むよりも多様な情報が入ってくる。
…相手に伝えようと自分で説明することで、自分の考えを確かにしたり、構造化したりすることにつながる。
…1人では生み出せなかった考えが生まれたり、新たな知が創造されたりする。

表面的なペアトークやグループトークを行うのではなく、これらを意識した「学び合い」の場面を仕組んでいく。

○学び合いのポイント

- ① 全員が参加する。
 - ・〇〇さんはどう思う？
 - ・ここまでわかった？
- ② 共感する。
 - ・なるほど！
 - ・そういうふう考えたんだね！
 - ・わたしは～してみたんだけど・・・どう？
- ③ 「わからない」「教えて」が言える。
- ④ 共通点をみつける。
 - ・ここが同じ考えだね。

⑤ 違うところについて質問し、深める。

	低学年	中学年	高学年
学び合いを深める質問(例)	<p>○学習のめあてに沿って質問する。 「数図ブロックで説明してください。」 「表や図を使って説明してください。」 「どうして、たし算になったのですか。」</p>	<p>○学習のめあてに迫る。 「図や表を使って説明してください。」 「どこからどこまでを表していますか。」(折れ線グラフや長さの学習など) 「一番大事だと思うところを教えてください。」 「なぜそうなりますか。」 ○解決方法をまとめていく。(法則化が成立するかどうか等) 「言葉の式で表してください。」 「公式で表すとどうなりますか。」 ○他の視点から捉えなおす。(学習を広げる) 「他の数字でも同じになりますか。」(他の場合もあてはまるか試すもの)</p>	<p>○学習の核心に迫る。 「なぜそうなりますか。」(分数のわり算でかけ算を用いるわけなど根拠を問う) 「二つのやり方の違いはどこですか。」 「数字を入れ替えてもよいですか。」(言葉の式や公式につなげていくもの) ○考えをまとめていく。(法則化・一般化する) 「言葉の式にしてみてください。」 「どの公式を使いましたか。」 「…になっている(図形や比例・反比例の条件にあてはめて)と言えますか。」 ○他の視点から捉えなおす。(学習を広げる) 「数値を変えても成り立ちますか。」 「別のやり方はありませんか。」 「二つの考えで同じところはどこですか。」</p>

○各学年における学習リーダーの役割

【低学年】

- ・45分の授業の流れをクラス全員で確認できるように、学習リーダーカードを読む。
- ・問題に取り組むときに、時間を意識して声掛けをする。

【中学年】

- ・学習リーダーカードをもとに、学習の司会・進行をする。
- ・時間を意識して、45分の学習を進める。

【高学年】

- ・学習内容を見通してめあてを立て、時間調整をしながら、45分の学習をつくる。
- ・学び合いの中で出てきた質問や意見を整理し、課題解決に必要な順序を意識した進行をする。

③適用問題や振り返りの時間の確保（35 + 10）

児童自身が理解の程度や学びの成果を把握できるようにするとともに、教師自身が指導の成果、課題を見取りその後の指導に生かせるようにする。

◇授業構成…35分+10分

本時の学習（35分）+適用問題、R80（振り返り）（10分）

◇適用問題…学習内容を確認する振り返り（知識）（技能）

◇R80（振り返り）…現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り（思考力・判断力・表現力等）

学習内容を自らとつなげ自己変容を自覚する振り返り（学びに向かう力、人間性等）

例）「これまでの学習を使って、解決することができた。」

- ・「いろいろな方法（図、表、グラフ、言葉、式等）で、答えを求めることができた。」
- ・「〇〇さんの考えのおかげで、新しい考えに気付くことができた。」
- ・「次の授業で～について調べてみたい。」
- ・「今日学習したことは～に使いそうだ。」

R80 考えを取り入れた振り返り

- ・接続詞をつかって2文で書く。

○探究の課程の R80（振り返り）の視点および期待する児童の表現

	ふり返りの視点		資質・能力	期待する児童の表現（例）
①	分かったことできるようになったこと、 また、わからなかったこと、 できなかったこと	自分の成長と課題の自覚	学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の勉強で～がわかりました。【特に、だから、次は、】～です。/ました。 ・今日の学習のポイントは～です。【わけは、】～からです。 ・～は難しかったです。【なぜかという、】～からです。 ・～のところはわかりました。【でも、】～のところがよくわからなかったです。
②	今日の課題解決で役立った見方・考え方	解決に役立った見方・考え方	思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の●●という見方・考え方を使って、～を解決することができました。【つまり、すると、】～です。/になります。 ・いろいろな方法（図・表・グラフ・言葉、式等）を使って～できました。【その中で、】～すると～です。/ます。 ・今日学習した〇〇は、～する時役立つと思いました。【だから、】～です。/ます。
③	友達の考えを聞いて思ったこと	対話的な学び	思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのやり方・考えを使うと、早く解くことができました。【なぜなら、どうしてかという、】～からです。 ・〇〇さんの意見を聞いて、新しい考えに気づくことができました。【だから】～です。/ます。 ・〇〇さんのようなやり方でも解けると分か

				りました。【これからも、】～です。/ます。
④	自分の考えが変わったこと		学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは分からなかったけれど、～に気を付けるとできるようになりました。【なぜなら】～からです。 ・はじめは～と思っていたけれど、〇〇さんの考えを聞いて、…と思いました。【だから】～です。/ます。
⑤	今後の学習や他教科で生かしたいこと	実社会・他教科・今後の学習とのつながり	学びに向かう力・人間性	・今日学習した〇〇は、～する時役立ちそうなので、使ってみようと思いました。【だから】～です。/ます。
⑥	生活に生かしたいこと		学びに向かう力・人間性	・〇〇で考えると、…の時便利だと思ったので使ってみようと思いました。【どうしてかという、わけは、なぜなら】～からです。
⑦	疑問に思ったこと	新しい課題の発見	学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、～になるのか不思議に思いました。【どうしてかという、わけは、なぜなら】～からです。 ・〇〇さんの考えについて、もっと詳しく知りたいです。【どうしてかという、わけは、なぜなら】～からです。
⑧	もっと知りたいこと	多面的・多角的な見方考え方 (別の方法で、違う見方で)	学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・次は、もっと～を考えたいです。【どうしてかという、わけは、なぜなら】～からです。 ・他に、～について知りたいです。【どうしてかという、わけは、なぜなら】～からです。 ・もっと複雑な問題や方法で考えてみたいです。【どうしてかという、わけは、なぜなら】～からです。

評価の仕方

	A	B	C
低学年	①～⑧の視点で、2文で振り返っている。	①～⑧の視点で振り返っている。	どの視点にも当てはまらない。
中学年	①～⑧の視点で、接続詞を使い2文で振り返っている。	①～⑧の視点で、2文で振り返っている。	どの視点にも当てはまらない。
高学年	①+②～⑧の視点で、接続詞を使い2文で振り返っている。	①～⑧の視点で、接続詞を使い2文で振り返っている。	どの視点にも当てはまらない。

・振り返りにおいては、全教育活動で行うことで、児童の学びがつながっていくように取り組む。

⑤ ICTの効果的な活用

- ・導入における興味・関心の喚起
- ・興味・関心を高める教材・教具の工夫
- ・話し合い活動を進めるための多様な表現方法
- ・自力解決やグループ活動における活用
- ・適用問題で活用など

⑥ カリキュラムマネジメントの実施

各教科との関連を図りながらし、算数科においも、学習の質の向上を図るカリキュラムマネジメントを実施しながら単元の構成の工夫等を行っていく。

(4) 児童に主体的な学びを実現するための教師の役割

①ファシリテーターとしての役割

「主体的な学び」を実現するためには、児童が自分たちの力で、学習を進行する力が必要となってくる。このような児童自らが学びを進め、主体的に学ぶ力の育成を図るためには、教師のファシリテーターとしての役割が重要となる。

そこで本校では、ファシリテーター・主体的な学びを実現するファシリテート力を次のように定義し、主体的な児童の育成の実現に向け取り組みを進めていく。

ファシリテーターとして

児童の「主体的な学び」を実現するため、ファシリテーターとしての教師の役割を以下のように整理した。

ファシリテーター … 子ども同士の学び合いを支援し、推進する裏方のリーダー。

教師のファシリテーターとしての役割

- 1 目標の共有、協働意欲の醸成（価値ある問いをもたせる）
- 2 参加者全員が意見を出しやすい場の設定と傾聴
- 3 対話を深めるための発問
(あいまいさを解消する発問・気づきを引き出す発問)
- 4 合意形成のための対立意見等の取り上げ

*醸成とは、ある状態や気運を徐々に作り出すこと。

*傾聴とは、相手の話したいことに対して深く丁寧に耳を傾け、相手に肯定的な関心を寄せ内容の真意をはっきりとさせながら、共感的理解を示すコミュニケーションの技法。

*合意形成とは、多様な利害関係者の意見の一致を図ること。特に議論などを通じて、関係者の根底にある多様な価値を顕在化させ、意思決定において相互の意見の一致を図る過程のことをいう。コンセンサスともいう。合意形成を図る過程のことを合意形成過程ともいう。

令和7年 月 自己評価表

年 名前

学び合いの充実を図る授業スタイルの確立のための教師の「ファシリテーター力」自己評価表
～児童の「主体的な学び」の実現のために～

4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 まったくできなかった

①めあて、まとめ、評価の整合性がとれていたか。	4	3	2	1
②目標の達成に向かう発問であったか。	4	3	2	1
③児童が自ら考えたり、自ら取り組んだりできるような手立てがあり、有効であったか。	4	3	2	1
④児童の多様な見方・考え方を整理・分析できたか。	4	3	2	1
⑤児童主体の学びの活動を充実させることができたか。 (ICTの活用、ペアトーク、グループトークなど)	4	3	2	1
⑥児童の思考の手がかりになる、あるいは、児童にとって学習の流れが分かりやすい板書であったか。	4	3	2	1
⑦授業の終わりに今日の学びや自己の成長について R80 で振り返る時間を設けたか。	4	3	2	1

(成果・課題)

【検証の指標・目標】

- ア 全国平均に対する学力定着状況 101%
- イ 単元末テスト平均点（低学年90、中学年85、高学年80）
- ウ 児童の主体性アンケート平均 80%
- エ 振り返りの評価B以上の児童の割合 80%

がくしゅう こえ
学習リーダーさんの声かけ

- ① 号令
- ② 「今日は、教科書の〇ページをします。」
- ③ 「問題を読みましょう。」 ⇒ 「問題を1分で書き(貼り)ましょう。」
- ④ 「気づいたことを発表しましょう。」
(分かったことや聞かれていること、前の学習とちがうところなど)
- ⑤ 「めあてを考えましょう。発表してください。」
「先生、お願いします。」
- ⑥ 「今日のめあては、『 』です。めあてを1分で書きましょう。」
- ⑦ 「自分で考えて、問題を解きましょう。〇分で考えてください。」
- ⑧ 「発表してください。質問や意見はありませんか。」
「先生、お願いします。」
- ⑨ 「今日の学習を『まとめ』ましょう。発表してください。」
「先生、お願いします。」
- ⑩ 「教科書〇ページ△番の練習問題を〇分で解きましょう。」
- ⑪ 「答え合わせをしましょう。」
- ⑫ 「今日の振り返り(R80)を〇分で書きましょう。」
- ⑬ 「振り返り(R80)を発表しましょう。」
- ⑭ 号令

5 研修の予定

※授業研は全て全体研修

期 日	教科・領 域等	研 修 内 容	指 導 者
-----	------------	---------	-------

5月15日(木)	算数	指導案検討(6年 脇本真里那)	
6月20日(金)	算数	授業研(6年 脇本真里那)	比治山大学 助教 村上 良太先生 三原市教育委員会 兼永指導主事
7月25日(金) ~30日(水)	算数	研究会、3学期授業研 単元・教材解釈シート、指導案作成日	
7月31日(木)	算数	研究会、3学期授業研 単元・教材解釈シート、指導案検討 各ブロックで検討する	
8月5日(火)	算数等	研究会、3学期授業研 単元・教材解釈シート、指導案起案 地域の宝を生かした授業づくりについて(カリキュ ラムマネジメント)	広島大学大学院 教 授 草原 和博先生
8月6日(水)	算数	研究会 単元・教材解釈シート、指導案 村上先生へ送信	
8月20日(水)	算数	研究会 単元・教材解釈シート、指導案検討	比治山大学 助教 村上 良太先生
8月25日(月)	算数	研究会 単元・教材解釈シート、指導案修正版起案	
8月	算数	複式学級における算数科の指導について	広島大学大学院 教 授 松浦 武人先生 (調整中)
8月26日(火) ~29日(金)	道徳	道徳参観日指導案作成 指導案検討(各ブロック)	
10月6日(月) ~10日(金)	算数	研究会シュミレーション(各ブロック)	
10月17日(金)	算数	教育研究会 1年 行廣弥生 2年 原田大志 3・4年 川本知恵 5年 渡辺美幸 6年 脇本真里那 ひまわり学級 井原幸雄 たんぽぽ学級 西原寿美代	比治山大学 助教 村上 良太先生 三原市教育委員会 兼永指導主事 三原市教育委員会 景山指導主事
1月29日(木)	保健	授業研(5年 吉門由貴)	未定
2月未定	算数	研究のまとめ	